

まちのわだい



身近な出来事や旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎6550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

子どもたちが大集合!

「あつまれひのっこ」開催

2月22日(日)、大谷体育館を会場に、日野町子ども会指導者連絡協議会主催の「あつまれひのっこ」が開催されました。この催しは、今回初めて町内7地区の子ども会指導者の方たちが集まり、開催されたもので、それぞれのアイデアを生かした遊び体験コーナーが設けられました。

参加者は、好きな遊びを選んで体験コーナーへ行き、ドライアイス、静電気、風船を使った遊びや、竹馬、糸電話、紙飛行機など昔ながらの遊び、またスポーツ吹き矢といった新しい遊びなど、たくさん遊びを体験しました。地域の子ども会が集まることで、子どもたちの交流だけでなく、保護者や指導者の交流の場ともなり、会場は元気な笑い声でいっぱいでした。



▲ドライアイスが入った水槽の中にシャボン玉を入れると、シャボン玉が浮いたままに!

伝統の味を自分たちの手で

丁稚ようかん作りに挑戦

3月1日(日)、村井にある「かぎや」さんで「近江日野昔ながらの丁稚ようかん作り」が開催されました。三万よし! 近江日野田舎体験推進協議会が初めて開催したこの企画に、長浜市や東近江市などから、12名の参加者がありました。

講師は、店主植田敏夫さんをはじめとする「かぎや」の皆さん。あんこに薄力粉と水を加えて混ぜ合わせ、竹の皮に包んでいく工程をわかりやすく指導されました。竹の皮に包んだら、蒸し器に入れて約1時間。その間に、季節を感じる和菓子作りも行われました。参加者の方は、「楽しかったです」と大満足の笑顔で話してくれました。



▶丸めたあんこを竹の皮で包んでいきます

ふろしきでいろんなものを作ってみよう

日野小学校でふろしき学習

3月3日(火)、日野小学校2年生を対象に、「ふろしき学習」が行われました。講師は東野子さんと、日野小学校でふろしきの授業をするのは、今年で4年目を迎えます。

まず、いろいろなふろしきの使い方を学び、昔に使われていた大きなふろしきや、ビール瓶をふろしきで包んでひな人形のようにしたものなどを見せてもらいました。子どもたちは、興味深々と話を聞いていました。最後は、持ってきたふろしきを使って、ポシエットや帽子、買い物袋などを作り、子どもたちは、ふろしきの用途の幅広さを体験していました。



▶ふろしきを使って買い物袋を作りました



まちのわだい

棧敷窓のある町家で落語を楽しむ

「近江日野 町家落語会」開催

3月8日(日)、「日野ひなまつり紀行」にぎわつ町並みの一角「西田邸(村井)」にて、「近江日野 町家落語会」が開催され、スタッフを含めて、約105名が参加されました。

この落語会は、「日野まちなみ保全会」の行った主催事業で、貴重な日野の町並みを活用する新たな可能性に挑戦しようと企画されたものです。

出演は、天満天神の会(大阪)の皆さん。落語家さんたちのおもしろい落語に、観客の皆さんは、大きな笑い声を上げ、町家での落語を満喫されていました。



▲落語を楽しもうと、たくさんの観客が訪れました

たくさんの素材が詰まった里山

「太田山」で巣箱かけと植樹

3月8日(日)、村井地区の里山「太田山」で『太田山を守る会』主催の巣箱かけと植樹が行われました。

参加者は、前もって作った巣箱を持参して、太田山の山頂広場に集合し、北か東の方に向けて巣箱を掛けられました。巣箱には、製作者の名前が付けられ、それぞれに愛着のあるものとなりました。

また、同時進行で、イチヨウとモミジの木を6本ずつ植樹されました。

今までも、さまざまな整備が行われてきた「太田山」。鳥の観察ができ、季節を感じられる里山になるよう、地元の方たちの手ですます整備が進められています。



▶脚立を使って、高いところに巣箱を設置

中学生が今の気持ちを手紙に

「なあなあ聞いて 短い手紙コンクール」開催

電子メールを使うようになった今、「心」をつなぐ手紙で本当の気持ちを伝えてほしいと、日野町地域女性団体連合会(山和美会長)が日野中学生を対象に「なあなあ聞いて 短い手紙コンクール」を開催されました。応募があった113通の中から、最優秀、優秀、佳作が選ばれました。

卒業式を前にした3月12日(木)、女性会の方が、小西廣校長先生のもとを訪問され、手作りの作品集とファイル、広報紙「ひのふじん」を中学生に贈られました。作品集は、中学生の気持ちが手紙を通して表現され、心に響くものとなりました。



▶小西校長先生に手渡す町田副会長と安田広報部長